

平成27年度 第2回和歌山県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 開催日時：平成27年7月28日（火）12：50～17：00

2 開催場所：和歌山県自治会館 3階306会議室

3 出席者

・委員

川淵 孝一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療経済学分野教授）

瀬戸 嗣郎（静岡県立こども病院院長）

辻 省次（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経内科学教授）

中川 武正（白浜町国民健康保険直営川添診療所所長）

・和歌山県

幸前福祉保健部長、野尻局長、鳥淵医務課長

4 議事

（1）平成26事業年度の業務実績評価結果案について

（2）財務諸表等の承認に関する意見について

（3）第3回評価委員会の進め方について

（4）その他

5. 議事要旨

（1）平成26事業年度の業務実績評価結果案について

◇法人の自己評価に対し、評価委員が異なる評価を行った項目について

・資料2-1、2-2に基づき法人の自己評価に対し、評価委員が異なる評価をした項目について、議論を行った。

主な意見については以下のとおり。

◆資料2-2 1ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

・紀北分院における救急の取組は評価できる。

◆資料2-2 2ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

・平成27年度から医学部1年生にTOEFLの受験を課したことは評価できる。

◆資料2-2 5ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

・卒業時のOSCEを導入したことは高く評価できる。

OSCEや臨床研修の内容の充実が今後の課題である。

・教員評価の今後の展開と、業務内容への反映について注目していきたい。

◆資料2-2 6ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

・電子ジャーナルの充実を図るという年度計画を十分に達成している。

◆資料 2-2 7 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・学長ランチミーティングの実施について、高く評価したい。
- ・低学年時にも学長と学生がコミュニケーションできる場があれば良いと思う。
- ・担任制が充実してきていることについて評価したい。

◆資料 2-2 8 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・救急受入患者数が13,473人となっており、通常の総合病院ではこの位の受入患者数は通常であると思うが、大学病院の救急としては多くの患者を受け入れていることについて評価する。
- ・脳死下の臓器提供が平成26年度に1例、平成14年度からの累計が6例であることについて、Ⅳの評価をしたい。

◆資料 2-2 9 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・紀北分院において、医療安全研修会の参加者数が倍増しており、100床規模の病院で多くの職員が参加していることについて評価する。

◆資料 2-2 10 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・院内外からの感染症治療や感染対策の相談件数が増加していることは評価できる。
- ・ICTチームに専属の医師を配置し、研修医を初期研修のローテーションに加えるようになると良いと思う。

◆資料 2-2 12 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・科学研究費の採択件数が増加していることや、科学研究費を獲得するためのセミナーの開催や手引き書の配布を行っていることを高く評価したい。
- ・科学研究費の採択額の増額に向け、より一層努力していただきたい。
- ・和歌山県立医科大学の持つ役割や特徴を活かす形で科学研究費の申請を行うことが望ましい。

◆資料 2-2 16 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・医学研究科博士課程の論文発表数が増加していることは素晴らしい。
- ・一方、国際学会発表数が減少しているのは気になるので、国際学会発表を支援するようなシステムの構築や、発表数が減少していることの原因分析が必要である。

◆資料 2-2 23 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅲ

- ・認知症の研修会・事例検討会・市民公開講座の参加者数が昨年に比べて大幅に減少している。
- ・和歌山県においても認知症は大きなテーマとなってくると考えられるため、積極的な取り組みを求めたい。
- ・認知症は深刻な問題であるので、地域包括ケアの充実のためにも、開催頻度を増加させ充実を図って欲しい。
- ・次年度以降は認知症地域連携パスを利用した患者数の状況を記載していただきたい。

◆資料 2-2 24 ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・転科後の返書は大変困難であるなか、地域連携室の努力により返書率がほぼ100%とすることができたことについて評価する。

◆資料 2-2 27 ページ 法人の自己評価 Ⅳ → 評価委員会の評価 Ⅲ

- ・学術交流の中で、学生の交換留学の取り組みがあまり進んでいない印象を受けるのでⅢの評価とした。

◇平成26事業年度の業務実績に関する評価結果（素案）について

- ・資料1の評価結果（素案）に基づき、議論を行った。
主な意見については以下のとおり。

◆資料1 5ページ 【附属病院】

- ・紀北分院における医療安全研修会への参加者数の増加のみならず、医療安全全般に対する取組を評価したい。

◆資料1 9ページ 【自己収入の増加】

- ・外来診療患者数が減少しているのは和歌山県立医科大学附属病院だけではなく全国的なことであるが、化学療法等により外来診療が高度化することにより診療単価が増加していない理由について分析が必要である。

◇平成26事業年度の業務実績に関する評価委員会における提言（素案）について

- ・資料3の評価結果（素案）に基づき、議論を行った。
委員からは特段の意見はなし。

（2）財務諸表等の承認に関する意見について

- ・資料4-1、4-2について事務局より説明を行った。
委員からは特段の意見はなし。

（3）第3回評価委員会の進め方について

- ・第3回評価委員会は書面審議としたい。